

令和6年 第2回定例会 6月
鹿児島市議会報告このニュースは政務活動費で作成しています。
市政へのご意見お聞かせください

鹿児島市議団ニュース 2024年7月 No.391

●発行/日本共産党鹿児島市議団 鹿児島市山下町11-1 ●TEL.216-1440 ●FAX.225-5607
●E-mail:kyousan@kagoshimashigikai.com ●http://jcp-kagoshigi.que.jp/

たてやま清隆
園山えり
大園たつや

このような不安が高まる中、鹿児島県
の廃止に伴う国民の不安と混乱を避ける
ため、現行の健康保険証とマイナ保険証
の廃止に伴う社会保障推進協議会等から、国に対して
「令和6年12月2日実施予定の健康保険証
の廃止に伴う国民の不安と混乱を避けるため、現行の健康保険証とマイナ保険証

の補正予算、17の議案が提案され、原案
通り可決されました。鹿児島銀行に公金
振込手数料を支払うとして1億9163
万円、乳がんなどの患者に対し補整下着
購入の負担軽減のための補助事業、国の
通育士1人に4・5歳児は30人から25人に、
3歳児は20人から15人にそれぞれ見直す
条例改正などが行われました。

表1. マイナ保険証の登録率と利用率、未登録者の推計 (R6.4月末現在)

保険の種類	被保険者数	登録率	利用率	未登録者
国民健康保険	103,631人	67.11%	17.45%	34,085人
後期高齢者医療保険	86,408人	62.35%	10.59%	32,533人

表2. 12月2日以降「健康保険証の廃止」の影響を受ける市民

①退職や転入等によって、新たに国民健康保険に加入する市民
②12月2日以降、75歳となり、後期高齢者医療保険に加入する市民
③短期保険証のため有効期限が切れる市民（国保・後期高齢者）
④これまで働いていた会社を辞めて、新しい会社に就職する市民
⑤公務員として採用され、役所で働くことになる市民

表3. 請願への各会派の表決態度



健康福祉局長は「本制度を持続可能で安
定的に維持するために県が示した制度に
沿って実施したい。」と答弁しました。
今後も所得制限の撤廃をさせるために
全力を尽します。

県の所得制限で対象から外れた方に市独
自で助成し、無料を継続している自治体
が14市あることから本市も独自助成する
べきと求めました。

所得制限は障がいのある方のいのちと
権利にかかる大問題として、市民団体
から378筆の署名が寄せられたことや
6月13日には
有料化はやめるべきと求めたところ、
健康福祉局長は「事業の持続可能性や利
善の利益」を本市で体現する制度であり、
障害児福祉計画第3期計画でも「利用者
の独自助成による利用の促進」を明記し
ています。

また、こどもの権利条約の4原則であ
る「差別の禁止」「生命と発達の権利」「最
も通うことができる、利用料は無料とする
独自助成を行っていますが、利用者数が全
国でも多いことを理由に一部有料化が検
討されています。

導入時に見込まれた早期療育の推進や
負担軽減などの効果は、支援が大きく広
がっていることから、当局は現時点でも
評価しており、令和6年度から始まつた
障害児福祉計画第3期計画でも「利用者
の独自助成による利用の促進」を明記し
ています。

同制度は、平成18年4月の障害者自立
支援法施行で生きるために必要なことを
利益とみなして負担を課す「応益負担」
が導入されたことに伴い、負担によつて
療育をあきらめることができないよう保護者
からの要望によって実現したものです。

現在、本市では障害児通所支援及び
課後デイサービス等に療育手帳がなくて
も通うことができ、利用料は無料とする
独自助成を行っていますが、利用者数が全
国でも多いことを理由に一部有料化が検
討されています。

障害児通所支援、
放課後デイサービス
等の一部有料化は
やめるべき！

重度心身障害者等医療費助成制度の助成を！

障害児通所支援、
放課後デイサービス
等の一部有料化は
やめるべき！

	国の制度による負担上限額	受給者証所持者数
生活保護世帯	0円	155人
市民税非課税世帯	0円	923人
市民税所得割課税額28万円未満	4,600円	6,192人
市民税所得割課税額28万円以上	37,200円	808人

保護者の皆さん
が独自助成の存
続を求め記者会
見を行い、市に
要望し、今後は
署名活動を行つ
て声を届けるこ
とを表明しまし
た。

鹿児島市議会議員
産業観光企業委員会
都市整備対策特別委員会鹿児島市議会議員
総務環境委員会
(副委員長)鹿児島市議会議員
市民文教委員会、議会運営委員会
桜島爆発対策特別委員会(委員長)

たてやま清隆 園山えり 大園たつや

4月の改選後、初めての市議会



園山えり 議員

市長 市民の不安が生じないよう国に対し、とからも市長は指定に反対するべき。
な連携協議を求めるところである。

党市議 本市は「平和都市宣言」をしていることからも市長は指定に反対するべき。

自衛隊への名簿提供 は教育的配慮や公正 な求人ルールに反す るものではないか

港を軍港化する 特定利用港湾の 指定に反対！

今回の特定利用空港・港湾の指定は、自衛隊や米軍が必要な時に、いつでも空港や港湾ができるようにし、かつ軍事利用しやすいように整備するもので整備費用を出すことと引き換えに、軍事利用していくことを目的としていることから党市議は、市長に対し鹿児島港の指定に反対するよう求めました。

県内では、鹿児島、徳之島の2空港、和泊の6港湾が候補とされているが、国からの説明は行われたものか。指定されることにより、自衛隊でなく米軍の利用も懸念され、攻撃目標にされるのではないか。

建設局長 5月29日にウェブ会議にて国から市長に対し説明があり、鹿児島港における今回の枠組みは、平素の訓練や大規模災害発生時を想定した取組で自衛隊の訓練は多くても年数回程度を想定している。当該施設が攻撃目標となれる可能性が高まるとは言えないとのこと。米軍は日本地位協定に基づき、利用することができることはないとのこと。

党市議 学校現場はこれに則った対応が求められており、名簿提供による直接的な就職募集は適切なのか問い合わせられていることを受け止めるべき。奈良市では18歳の当事者が国と自治体を提訴したが、生徒がこのような重い決断を迫られるような名簿提供は改めてやめるべき。

令和6年度の制度充実の比較

	R5年	R6年
小学生まで	5市	1市
中学生まで	30市	20市
高校生まで	27市	41市
自己負担あり	32市	29市
自己負担なし	30市	33市

対象年齢18市、自己負担なし5市が拡充

トドモ医療費 助成制度の さらなる充実を！



大園たつや 議員

市営住宅の現状回復 費用はなぜ高い？

市営住宅を退去するとときに求められる原状回復費用。入居者向けの広報誌に「30万円準備してください」と書いてありますが、「50万円から70万円かかります」などと言われ、不安になっている住民から市議団に相談が寄せられています。市営住宅では、賃の表替えやふすまの貼替が入居者負担となっていますが、原状回復費用を家賃に上乗せしている民間住宅と違い、割高になる傾向にあるようです。

しかし、他の中核市の調査を行ったところ、本市は他の自治体と比べても高いことや船橋市のように敷金を超えた分は10万円までなど上限を設けて高くなりすぎないようにしている事例がありました。

市長が市独自の充実について令和6年第1回定例会で「スピード感をもって検討するよう指示したところです。」と答弁していました。今回、情報提供を拒否された市民101人が除外申請を行いました。(内訳電子申請78人、郵送16人、持参7人) 党市議は、改めて名簿提供の撤回を求めました。

市長が市独自の充実について令和6年第1回定例会で「スピード感をもって検討するよう指示したところです。」と答弁していました。今回、情報提供を拒否された市民101人が除外申請を行いました。(内訳電子申請78人、郵送16人、持参7人) 党市議は、改めて名簿提供の撤回を求めました。

他の中核市との原状回復費用の比較

都市名	最高額	平均額
盛岡市	600,000円	100,000円
富山市	232,025円	95,870円
姫路市	150,900円	61,535円
川越市	78,400円	48,366円
鹿児島市	550,000円	330,000円

党市議は現状回復費用を抑える方策や減免制度の具体化の検討を求めたところ、建設局長は「人件費や物価の高騰により(費用が)上昇傾向にありますことを踏まえ、負担の軽減策について他都市事例を研究してまいりたい。」と答弁しました。



たてやま清隆 議員

定額減税の対象外となる白色・青色申告の事業専従者にも給付金

市が照国神社に対し、道路占用料相当額を不當利得返還請求



市道上に建つ照国神社の大鳥居について、市が違法な財産管理を行っているとして、令和4年7月、住民監査請求が行われました。監査の結果、請求は棄却されましたが、市が神社に対して、道路占用許可申請を求める等、現状の問題解決に努めるよう意見が付されました。

しかし、未だ解決が図られていないことから、党市議の質疑の中で、全国の中核市調査では、市有地上に宗教法人が所有する物の設置がある31市中、21市は道路占用許可申請等によって解決を図っていました。

党市議は、所得税法によつて定額減税(1人4万円)の対象外となる白色・青色申告の事業専従者は本市では、毎年、3500人で推移しており、救済を求める立場から質疑しました。この問題は、国会でも質疑されており、党国会議員の質問に対する政府答弁を質したところ、

「給付金で対応できるように、来年にかけて準備をすすめている」との見解が示されました。党市議は「約3500人の市民は、定額減税の対象外となつていて、これを、これから知ることになる。国は、1人当たり4万円の給付と明確に答弁しているので、早急に周知を図るべき」と要請しました。

党市議は現状回復費用を抑える方策や減免制度の具体化の検討を求めたところ、建設局長は「人件費や物価の高騰により(費用が)上昇傾向にありますことを踏まえ、負担の軽減策について他都市事例を研究してまいりたい。」と答弁しました。

あなたの願い実現のために
市議会へ「請願」を

困ったことなど暮らしの相談

生活相談

毎週月曜日 午後1時～4時

日本共産党控室(市役所西別館3F)

TEL.099-216-1440 FAX.099-225-5607



を発揮して問題解決にあたることを求めたところ、市長から「歴史的経緯等を踏まえながら、適正な占用手続に向け、協議を重ねるよう担当部局に指示している」との答弁が示されました。